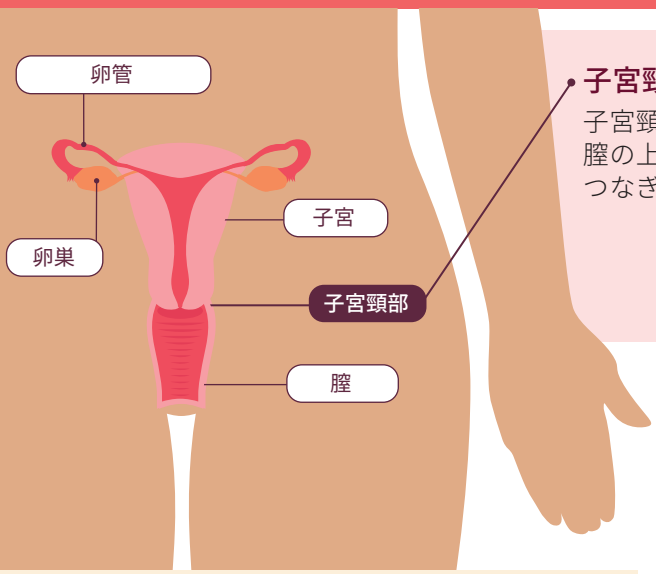
あなたの健康
あなたの未来

子宮頸がん検診を受けましょう

Japanese | 日本語



子宮頸部とは？

子宮頸部は生殖系の一部です。膣の上部にあり、膣と子宮をつなぎます。

HPV とは？

ヒトパピローマウイルス（HPV）は、皮膚間接触を含む性的接触を通じて人から人に感染する一般的なウイルスです。HPV は子宮頸がんの主な原因です。

子宮頸部のがんとは？

子宮頸部のがんは深刻な病気です。**初期には症状がまったくない場合もあります。**子宮頸がん検診は、がんに進行する可能性のある変化を見つけることができます。

この検診によって命を救うことができます。

子宮頸がん検診とは？

子宮頸がん検診はパップテストに取って代わるものです。HPV に感染しているかどうかを調べる検査で、医師や看護師に実施してもらうか、自分で行うこともできます。

検査は短時間で終わり、**安全**です。不快感がある場合もありますが、痛みはありません。処女性への影響はありません。

できること：

- **女性の医師や看護師**を希望できます
- **通訳**の同席を希望できます
- 友人やパートナー／夫の付き添いが可能です

いつこの検診を受ける必要がありますか？

25 歳以上で過去に性的接触をもったことのある方は、医師または看護師に予約を入れて検診を受けてください。

74 歳までは、**定期的な子宮頸がん検診を 5 年に 1 度受ける**必要があります。前回の検診の結果が良好であった場合でも、次回検診の確認通知が届きます。

HPV ワクチンとは？

オーストラリアには HPV 予防に役立つワクチンがあります。

7 年生のすべての生徒（男子を含む）が無料で HPV ワクチン接種を受けられます。お子さんのワクチン接種を希望される場合は、保護者の方あての案内状に署名のうえ学校に返送してください。このワクチンは、お子さんが性的活動を始めたり、結婚する際に、HPV から守ってくれるものです。

お子さんが学校でワクチン接種を受けなかった場合でも、25 歳になるまでは無料で接種を受けられます。ワクチン接種を希望する成人の方は、かかりつけの医師に相談してください。

HPV ワクチンはあらゆる種類の HPV を予防するわけではないため、接種を受けた方も子宮頸がん検診を受ける必要があります。

このワクチンは安全です。がんを引き起こすことも妊娠・出産に問題に及ぼすこともありません。

true
relationships & reproductive health

Queensland Government

V1-20210513

子宮頸がん検診は命を救います。

子宮頸がんになる人のほとんどが子宮頸がん検診を一度も受けたことがないか、過去5年間受けていません。

子宮頸がん検診はどのように行われるのですか？

2つの方法から選べます。

自分で検体を採取することもできますし、かかりつけの医師または看護師に検体を採取してもらうこともできます。いずれの方法も正確で安全です。

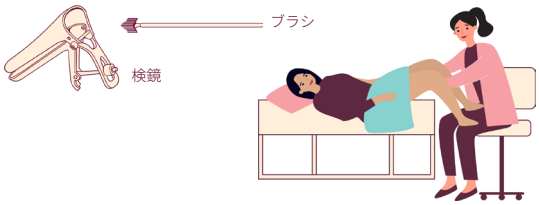
医師／看護師による採取

あなたのプライバシーを守るため、下半身をシートで覆うことができます。

医師または看護師が検鏡を膣に挿入します。

小さくて柔らかいブラシを使って子宮頸部から検体を採取し、それを検査機関に送ります。

結果が出たら、医師または看護師から連絡があります。連絡がない場合は、クリニックに結果を問い合わせてください。



再来院するように求められたら、それに応じて受診することがとても大切です。

自己採取

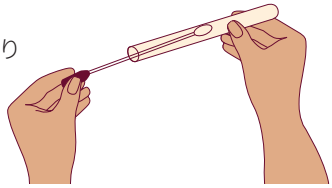
医師または看護師からスワブを受け取り、採取方法の説明を受けます。

検体採取は、クリニックのカーテンの中やお手洗いで一人で行えます。

パッケージからスワブを取り出して膣内に数センチ挿入します。

スワブを10～30秒間回転させてから抜き、パッケージに戻します。

その間、いつでも、かかりつけの医師または看護師に助けを求めることができます。



割礼や性器切除を受けている女性もこの検診について問い合わせることができます。

子宮頸がんに対する最良の予防策は、5年おきに子宮頸がん検診を受ける事です。

無料の子宮頸がん検診はどこで受けられますか？

- 医師 (GP) のクリニック：「バルクビル」（無料受診）が可能か尋ねてください
- 地域保健センター
- **True の以下のクリニック** - ブリスベン、イプスウィッチ、トゥーンバ、ケアンズ、ロックハンプトン

True のブリスベン診療院へのお問い合わせ

07 3250 0200

clinicreception@true.org.au

true.org.au/clinic

true
relationships & reproductive health

本資料は地域コミュニティとの協議のうえ、Culturally Responsive Health Advisory Group と共同で作成されました。

Queensland Government

V2-20220118